

コロナ後の世界を考える ～地域共生社会の実現に向けて～

新型コロナウイルスの流行は、健康不安、経済的な不安により、これまで平和で安全な私たちの生活を危機に陥れようとしています。これに立ち向かう医療供給体制がひっ迫するという困難な状況にあり、経済的にも廃業、解雇など、困窮する人が多数生れています。しかし、政府の対応は危機管理の未熟さゆえ、後手後手に回り、有効な対策はいまだに行われていません。

コロナ禍で貧困が拡大する中、緊急の対策が必要になっていますが、明確な処方箋は提起されておらず、政権の方針である「自助努力」が全面にたち、「共助・公助」は後回しになっていると考えざるを得ません。

今回の講演会は、コロナ禍にあって生活に困窮する人たちにどのような制度、政策が必

要なのかに焦点を当て、「コロナ後の世界ー地域共生社会の実現に向けてー」と題して社会保障、福祉政策を専門に研究している宮本太郎先生を講師にお迎えしました。先生は社会保障を扱う政府の審議会委員を歴任したほか、各地の労働組合、市民団体、研究団体に精力的に講演活動を行い、様々な論文の発表もおこなっています。

コロナ禍の時代をどう生きるのか、関係する皆様のご参加をおまちしています。

.....
なお、講演にあたりましては、ガイドライン (https://chiba-jichiken.net/img/new_corona1.pdf) に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を実施します。参加者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

[講演会資料代 500 円 会員無料]

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2021年3月6日（土）
14時30分～16時30分
- 会場：千葉県教育会館新館 501 会議室
千葉市中央区中央 4-13-10

<講演 講師紹介>

宮本 太郎 氏
(みやもと たろう)



<現職> 中央大学法学部教授。北海道大学名誉教授。福祉政治論専攻。

<略歴> 1958年東京都生まれ。中央大学大学院法学研究科修了。立命館大学法学部助教授、北海道大学法学部教授などを経て、2013年より現職。

社会保障改革に関する有識者検討会座長、社会保障制度改革国民会議委員など歴任。現在、社会保障審議会・生活困窮者自立支援及び生活保護部会部会長などをつとめる。

★ お申込は自治研センターへ 電話043-225-0020
FAX 043-225-0021
☆ 2月19日（金）までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉